

平成20年 青少年ピースフォーラム 報告書



長崎市



青少年ピースフォーラム

1. 目的

全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年のみなさんと長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を目的として実施しています。

このフォーラムには、長崎市青少年ピースボランティアの高校生や大学生も参加し、平和学習の進行やフィールドワークの案内などを行っています。

2. 平成20年の日程・会場

日	時	内容		
1日目 8/8 (金)	14:00	開会行事(被爆体験講話)		
	15:05	<平和会館3階ホール>(2ページ)		
	15:10	Aコース	Bコース	
		参加型平和学習 あの夏の日 ~63年前の長崎~ <平和会館3階ホール>(3ページ)	被爆建造物等のフィールドワーク ~歩いて学ぶ63年前の街~ <原爆資料館周辺>(5ページ)	
	17:00	<平和会館3階ホール>(3ページ)		
18:00	交流会			
19:30	<長崎新聞文化ホール>(7ページ)			
2日目 8/9 (土)	13:30	Aコース	Cコース	Bコース
		参加型平和学習 平和な未来をつくるために ~一人ひとりができること~ <平和会館3階ホール> (4ページ)	意見交換 (高校生対象) <原爆資料館 会議室> (7ページ)	参加型平和学習 平和のつどい ~できることからはじめよう~ <原爆資料館平和学習室> (6ページ)
	15:30			

その他

8/9(土) 原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列<平和公園平和祈念像前広場>(8ページ)

午前 市内中学校の平和集会への参加

3. 平成20年の参加者

	平和学習参加者					引率者 保護者	合計
	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人		
自治体派遣の使節団	39	200	13	3	1	80	336
長崎市少年平和と友情の翼		22					22
長崎市青少年ピースボランティア			38	17	6		61
一般参加者	2	9	5			3	19
合計	41	231	56	20	7	83	438

Aコース 参加自治体			
都道府県	自治体名	参加者	引率者
福島県	郡山市	29	6
東京都	港区	2	2
	新宿区	7	9
神奈川県	藤沢市	40	8
京都府	福知山市	4	2
兵庫県	播磨町	4	2
福岡県	直方市	6	3
大分県	豊後大野市	21	3
沖縄県	那覇市	4	1
	宜野湾市	8	2
	浦添市	10	3
	北谷町	4	3
	北中城村	4	3
	中城村	3	2
合 計		146	49

Bコース 参加自治体			
都道府県	自治体名	参加者	引率者
北海道	札幌市	6	2
	函館市	6	3
	旭川市	2	1
	深川市	2	1
宮城県	気仙沼市	3	1
	美里町	12	3
茨城県	つくば市	6	2
埼玉県	本庄市	8	2
千葉県	松戸市	10	2
	浦安市	16	3
東京都	品川区	6	1
岐阜県	美濃加茂市	3	1
静岡県	浜松市	2	1
愛知県	岩倉市	14	3
京都府	宇治田原町	4	1
宮崎県	日向市	8	3
沖縄県	石垣市	2	1
合 計		110	31

開会行事

- ◆ 日 時 8月8日(金) 14時～15時5分
- ◆ 場 所 平和会館ホール

★ 被爆体験講話

講 師：吉田 勝二さん

13歳の時、爆心地から850メートルで被爆された吉田さんから被爆当時の想像を絶するような状況から生き抜いてこられたこと、原爆で受けた傷で苦しんでこられたことなどをお話いただきました。



「平和の原点は人の痛みがわかる心をもつこと」です。

★ 被爆前後の写真紹介

解 説：長崎大学教育学部 吉田 沙弥香さん

米軍が撮影した被爆2日前と被爆翌日の長崎の写真をもとにコンピューターグラフィックスで爆心地周辺を再現した画像と現在の様子の写真をスライドで投影し、長崎が一発の原子爆弾で一瞬にして廃墟と化したことを学習しました。



Aコース
1日目

参加型平和学習
「あの夏の日～63年前の長崎～」

被爆の実相を学び、原爆の悲惨さを伝えていくことについて考えました。

- ◆ 日時 8月8日(金) 15時10分～17時
- ◆ 場所 平和会館ホール
- ◆ 司会 青少年ピースボランティア 原田 佳奈さん
- ◆ 解説 平和案内人 調 仁美さん



★ 班作り

各団体の参加者は1班約10名からなる15の班に分かれ、青少年ピースボランティアの進行で、自己紹介などを行いました。

★ 絵本「あの夏の日」による学習

原爆絵本「あの夏の日」(絵・文 葉祥明氏)をスライドで投影し、青少年ピースボランティアによる朗読を聞きながら、長崎に原爆が投下された時の状況を学習しました。



★ 平和案内人による解説

絵本で学習した被爆の実相について、原爆資料館で平和案内人をされている調さんにスライドを使ってくわしく説明していただきました。途中で問題も出題され、班で考えながら原爆の恐ろしさについて学習し、学習したことをワークシートに記入していきました。



長崎に原爆が投下されたのは?

1945年 8月 9日
11時 2分

問題1 熱線

原爆が投下された時の爆心地の地表面の温度は?

A 100℃
B 1,000℃
C 1,500℃
D 4,000℃

原爆症

①急性障害

熱線・火災 → やけど
爆風 → 外傷・骨折
放射線 → 吐き気・だるさ
髪が抜ける

ワークシート

青少年ピースフォーラム Aコース「あの夏の日」

原爆が投下されたのはいつの日か?

原爆が投下された時の爆心地の地表面の温度は?

原爆症の急性障害は?

原爆症の慢性障害は?

原爆の恐ろしさについて学習したことをワークシートに記入していきました。

★ 意見交換

「原爆や核兵器の恐ろしさを伝えるために私達にできること」について班で意見交換をしました。

- ・ 今日学んだことを身近な人に話す。
 - ・ 文化祭や学校の集会で発表する。
 - ・ 紙しばいや歌にして伝える。
 - ・ 自分達の地域だけでなく、写真や資料を使って世界中に核兵器の恐ろしさを伝え、なくすよう呼びかける。
- といったことが提案されました。



Aコース
2日目

参加型平和学習
「平和な未来をつくるために
～一人ひとりができること～」

平和のためにできることについて考え、平和宣言文としてまとめました。

- ◆ 日時 8月9日(土) 13時30分～15時30分
- ◆ 場所 平和会館ホール
- ◆ 司会 青少年ピースボランティア 高峰 千尋さん

★ 導入

前日の学習や平和祈念式典に参列しての感想を各班で発表しました。



★ 意見交換

毎日の生活のなかで「平和なときはどんなときか」、「平和ではないときはどんなときか」を考えてカードに書いていき、平和でないときを平和にしていくためにはどうすればよいか解決策を班で話し合いました。



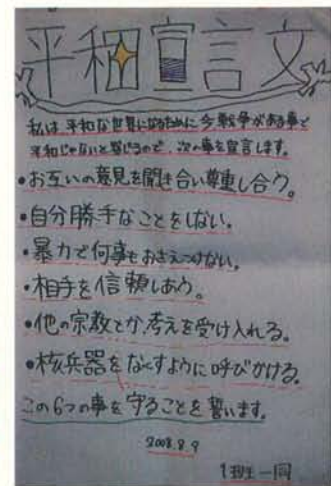
★ 平和宣言文の作成

話し合った内容をもとに、「平和な世界をつかっていくためにできること」について、班ごとに平和宣言文としてまとめました。



★ 平和宣言文の発表

班でまとめた平和宣言文を全体に発表しました。



最後に全員で「世界がひとつになるまで」を歌いました。



Bコース
1日目

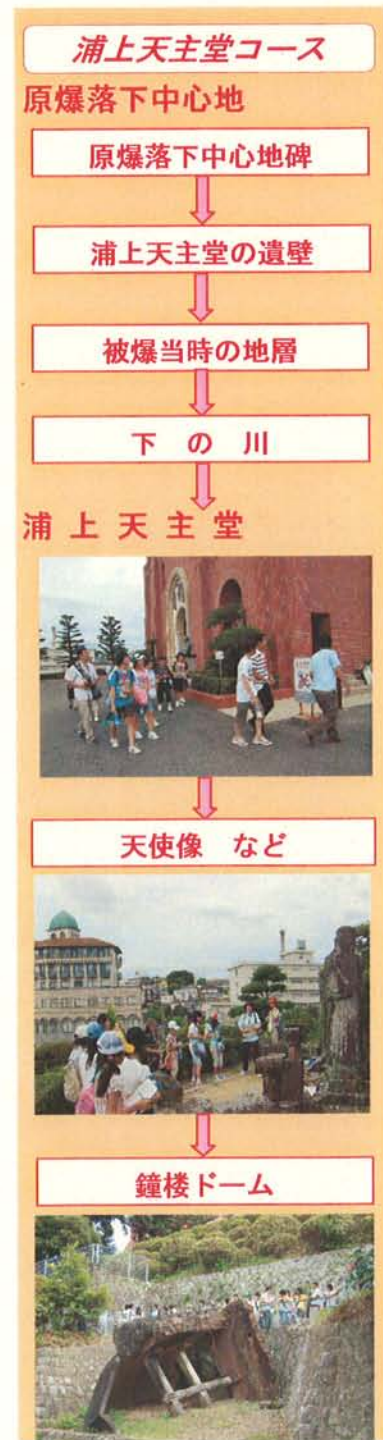
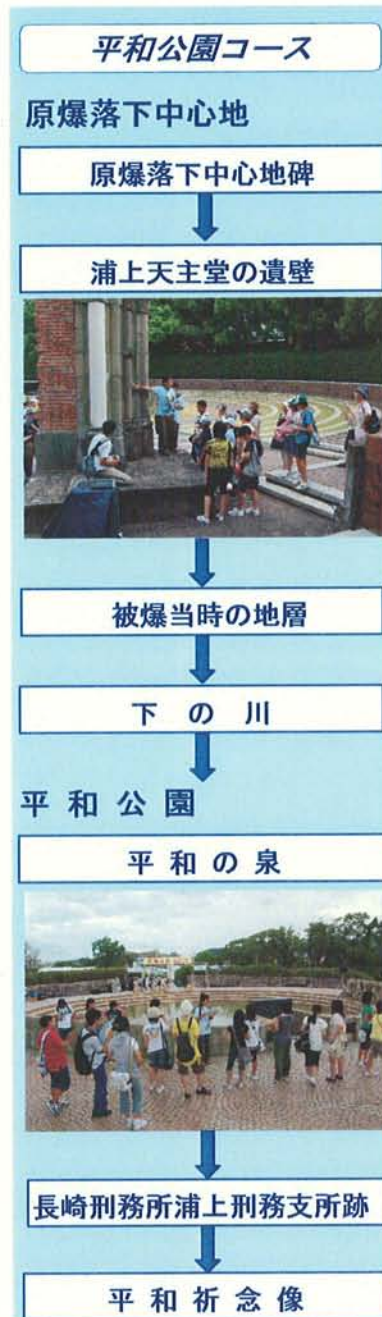
被爆建造物等のフィールドワーク
～歩いて学ぶ63年前の街～

爆心地周辺にある被爆建造物や慰霊碑などを、青少年ピースボランティアが被爆当時の写真を見せながら案内し、被爆の実相や原爆の悲惨さを学びました。

◆ 日時 8月8日(金) 15時10分～17時



はじめに原爆の基礎知識やフィールドワークでの注意点を確認し、班ごとに出発しました。



Bコース
2日目

参加型平和学習
「平和のつどい」
～できることから始めよう～

被爆の実相について学び、平和な社会をつくっていくためにできることについて考えました。

- ◆ 日時 8月9日(土) 13時30分～15時30分
- ◆ 場所 原爆資料館 平和学習室
- ◆ 司会 青少年ピースボランティア 伊藤 和吉さん

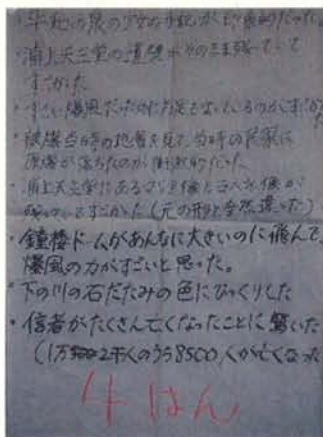
★ 導入

参加者は1班10名からなる8つの班に分かれ、青少年ピースボランティアの進行で自己紹介などを行いました。



★ 原爆についての学習のまとめ

前日のフィールドワークの復習や説明の補足を問題を交えながら行い、原爆について学習した感想を班で一人ずつ発表しました。



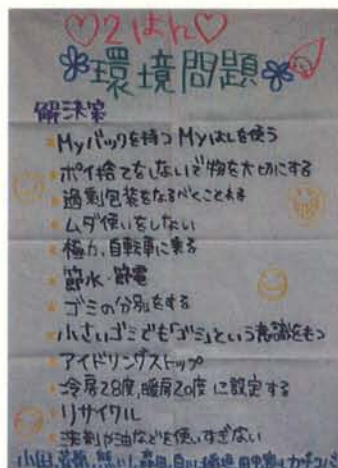
★ 身近な問題について

地域や学校、家庭などにおいて「平和ではないと思うこと」について班で考えました。



★ 意見交換

班で挙げた問題のうち一つの問題について、自分たちができる解決策を班で考えて模造紙にまとめ、最後に全体発表を行いました。



Cコース

意見交換

高校生・大学生が平和な社会をつくっていくために
できることについて、意見交換を行いました。

- ◆ 日 時 8月9日(土) 13時30分～15時30分
- ◆ 場 所 原爆資料館2階会議室
- ◆ 司 会 青少年ピースボランティア 榎原 かすみさん
- ◆ 参加者 19名(港区 品川区 藤沢市 福島県 長崎市)

★ 活動報告

最初に各団体の活動を紹介しました。

★ 意見交換

「核兵器のない平和な社会をつくっていくために若い世代にできること」をテーマに次のことを中心に意見交換を行いました。

- ・長崎に来ようと思ったきっかけ
- ・長崎に来ての感想や学んだこと
- ・学校での戦争や平和についての学習、取りくみ
- ・日頃平和について考えること
- ・原爆や東京大空襲などをどのように伝えていくか



交流会

- ◆ 日 時 8月8日(金) 18時～19時30分
- ◆ 場 所 長崎新聞文化ホール
- ◆ 司 会 青少年ピースボランティア 臼田 麗奈さん

フォーラムの参加者が団体や班の枠をこえて交流するとともに、平和に関する取りくみや文化などの紹介を行い、相互理解を深めました。



誕生日ごとにテーブルに分かれ、交流を深めました。



自己紹介カードを交換し、住んでいるところや自分のことについてお互い紹介しました。



北谷町の紹介



藤沢市の紹介

合唱「変わらないもの」

原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列

- ◆ 日 時 8月9日(土) 10時40分～
- ◆ 場 所 平和公園 平和祈念像前広場

式典に参列し、原爆で犠牲になられた方のご冥福をお祈りし、世界の恒久平和を祈りました。

式次第

- 10:40 開 式
- 10:40 原爆死没者名奉安
- 10:42 式 辞 (長崎市議会議長)
- 10:46 献 水
- 10:48 献 花
- 11:02 黙 禱
- 11:03 平和宣言 (長崎市長)
- 11:13 平和への誓い (被爆者代表)
- 11:18 児童合唱「あの子」
(長崎市立山里小学校)
- 11:23 来賓挨拶
(内閣総理大臣・長崎県知事)
- 11:33 合 唱 千羽鶴
(純心女子高等学校)
- 11:38 閉 式



長崎市長による平和宣言



ピースボランティアによる参列者への飲料配布



合唱 (山里小学校)

市内中学校の平和集会への参加

- ◆ 日 時 8月9日(土) 9時25分～11時50分
- ◆ 場 所 長崎市立桜馬場中学校

宇治田原町のみなさんは長崎市立桜馬場中学校の平和祈念集会に参加しました。



被爆者の城臺美彌子さんの「長崎を最後の被爆地に」というテーマでのお話のあと、宇治田原町のみなさんが戦争の時の京都の様子など、平和について学んだことを報告しました。



桜馬場中学校の各学年の代表による平和学習の報告や、3年生の合唱「千羽鶴」、平和人権実行委員の「桜馬場中学校平和宣言」の発表などを聞きました。



最後に、桜馬場中学校のみなさんと、平和と友好を誓った記念のメッセージを交換するなど、交流を深めました。

「青少年ピースフォーラム」参加者の感想

実際に被爆された土地を訪れ、被爆者の生の声を聞くことで地元では絶対に学べない深い平和を感じることができました。また交流会もとてもいい場になりました。ピースフォーラムで学んだことは福岡に帰って広く発信し、平和への意識を高めたいと思います。

Aコース 直方市 野村 実花さん



ボランティアの人が、私達に一生懸命話してくれるのを見て、平和についての思いを必死に伝えたいんだなということをしごく思いました。『人の心の痛みがわかる人』を目指し、もっともっと平和ってすばらしいんだ、その裏にはたくさんの歴史があったんだということを伝えていきたいです！！

Bコース 日向市 黒木 宏美さん



実際に被爆した建物やその当時の地層を見ることで戦争の悲惨さをはだで感じ、学ぶことができました。一部が原爆によって吹きとばされた石像や、くずれ落ちた浦上天主堂を見たときは、とても悲しく涙があふれてきました。

同じ人間どうしなのに憎み合い、殺し合う戦争は本当にゆるせません。けれど吉田勝二さんがおっしゃっていたように、当時の人たちを憎んでも今何も変わらないので、今私たちにできることは、戦争の悲劇を多くの戦争を知らない人たちに知ってもらおう事だと思います。とてもいい経験になりました。

Bコース 本庄市 三友 杏奈さん





青少年ピースフォーラムを通じて、派遣生たちは原爆や戦争について、平和の尊さについて、自分自身の問題として捉え、考えていく良い機会になるとともに、若い彼らの今後の人生において、大きな意味を持つものとなりました。

品川区 引率職員 守屋 尊さん



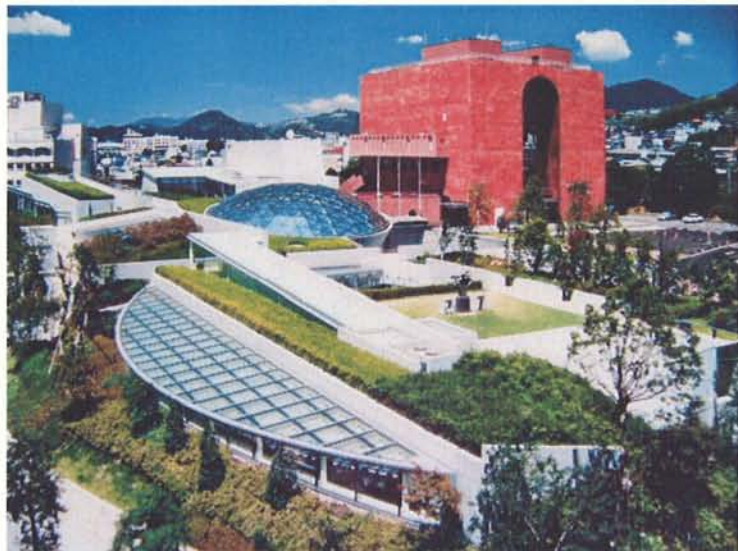
実際に、原爆落下中心地をボランティアの方に説明してもらいながら歩くなかで、美しい長崎の街の下にも、まだ見つかっていない亡くなった方の骨が埋まっているかもしれないという現実を知り、過去から現在へと続いている戦争のおそろしさ、原爆の悲惨さを実感として学ぶことができたと思います。

札幌市 引率職員 湯浅 真樹さん

こういった青少年が自ら学び、考え、意見を出し合うといった参加型の平和学習は、長崎に来てこそできたこともたくさんあったので、有意義な体験になったのではないのでしょうか。私自身もあらためて考えさせられることが多くあり、今後の活動もがんばろうと強く思いました。

長崎市 青少年ピースボランティア
稲吉 かおりさん





平成20年 青少年ピースフォーラム 報告書



発行 長崎市 原爆被爆対策部 平和学習支援室

所在地 〒852-8117 長崎市平野町7番8号 長崎原爆資料館内

電話番号 095(844)3913

電子メールアドレス heiwagakushu@city.nagasaki.lg.jp

ホームページアドレス <http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/abm/index.html>